

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	いまきいれ子ども発達支援センターまある 【児童発達支援】		
○保護者評価実施期間	R8年1月14日		～ R8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51 (回答者数)	48
○従業者評価実施期間	R8年1月20日		～ R8年2月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>子どもが安心感をもって通園していること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもに合った支援内容の提供ができています。</li> <li>多職種での支援体制ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が各々の職種の視点から子どもたちの気持ちや行動を考え、発達に沿うような支援内容を検討し、適切な支援になるよう計画や活動内容の話し合いを行っている。また活動前後、イベント前後でも打合わせや振り返りも必ず実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者の状況を共有し対応した後の一定期間後の振り返りを行うとともに、ケースカンファレンスの充実を図っていく。</li> <li>より支援内容の充実を図るため、園内外の研修推進を図るとともに、ほか事業所からの活動参加を依頼し助言なども積極的に受け入れる体制を検討していく。</li> </ul>
2	<p>子どもが安心感をもって通園していること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者が安心安全に通園できるような環境の提供ができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる環境のため、清掃や整理整頓を日々行っているだけでなく、チェック表を用いて安全確認も行っている。</li> <li>職員全員がより整理整頓を意識するよう外部講師(第3者からの視点)の意見を反映しながら、安心安全な環境を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な清掃や点検を継続していく。</li> <li>保護者も一緒に安心できる環境の提案(視覚化)を検討していく。(手指消毒の使用量などみえる形で、保護者も交えて皆で安全への意識を図っていく等)</li> <li>外部講師(第3者からの視点)の意見を反映し、安心安全な環境が提供できるよう継続していく。</li> </ul>
3	<p>事業所の支援に保護者が満足していること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の保護者の相談や対応に丁寧に応じていること。</li> <li>子どもの発達の状況に共通理解が来ていること。</li> <li>保護者に対して学習の場を提供していること。(ペアレントトレーニングや発達などについての学習会など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者面談を適宜行っている。</li> <li>保護者記載の「前日の様子」を必ず確認し、子どもだけでなく保護者の様子も気をつけながら声かけを行い対応をしている。また全職員で子どもや保護者の状況を共有できるよう、職員会議だけでなく朝礼・終礼時に常に報告を行い、情報の共有化を図り全職員で子どもや保護者をサポートできる体制ができており、サポートできるよう努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な面談時間の確保を行う。(特に心理士面談の充実を図っていく)</li> <li>子どもや保護者の状況を共有し対応した後の一定期間後の振り返りを行い、ケースカンファレンスや記録内容の充実を図っていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会を設ける機会がなく、検討が必要であること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園や認定こども園、幼稚園との交流が少なく、地域との密着の弱さ。</li> <li>感染面を考慮するとなかなか機会を設けづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回ある「子育てひろば」の案内を行う。</li> <li>地域の「子育てサロンこあら」への案内を促す。</li> <li>地域の保育園、幼稚園との連携ができる体制づくり(保育園や幼稚園に訪問し顔の見える関係づくりの構築や、保育園・幼稚園向けの研修会開催や公開療育に招くなど)に努めていく。</li> </ul>
2	<p>保護者同士の交流の機会を設けるなど、保護者への支援は行っており、今年度はきょうだいdayを設け兄弟への支援も行った。ただきょうだい同士の交流を設ける機会がなく、きょうだいへの支援内容の検討が必要であること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの低年齢や家族背景を考慮すると父母の会などの立ち上げは難しいと考える。</li> <li>感染面の考慮からなかなかきょうだいを含めたイベントなどの機会を設けづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別療育の中できょうだい児にまあるを知ってもらう機会を定期的に提供できるように努める。</li> <li>きょうだい児も含めたイベント内容の工夫を行い、支援ができるよう検討していく。</li> </ul>
3	<p>保護者等も参加できる研修会や情報提供の機会等を充実させていく必要があること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子通園のため、保護者を分離して研修会を行える人員体制の難しさ。</li> <li>定期的に研修を提供できる体制がまだ不十分であり、保護者向けの研修計画や内容の検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して保護者に対して定期的な研修や情報提供ができるよう計画を立て、実施できるよう努めていく。</li> <li>定期通信「ぐんぐんだより」を利用し、提供する情報内容の充実を図っていく。</li> </ul>